

CONCISE EXPLANATION OF RELEVANCE

Japanese Unexamined Patent Publication No. 07-303507

As shown in Fig. 3, two through holes 1a is provided on each of pearls 1. As shown in Fig. 4, a through hole 4a is provided on each of pearls 4. As shown in Fig. 5, a ring 3' with a cut off portion is prepared. Then, as shown in Fig. 6, one end of the ring is inserted to the through holes of the pearls 1 and 4 alternately.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-303507

(43)公開日 平成7年(1995)11月21日

(51)Int.Cl.⁶

A 4 4 C 11/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数6 書面 (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平6-132362

(22)出願日 平成6年(1994)5月11日

(71)出願人 594091248

株式会社備徳

東京都調布市柴崎2の32の3

(72)発明者 里吉 政文

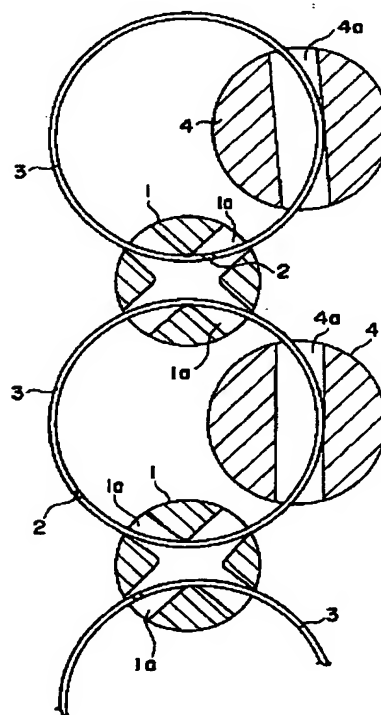
東京都調布市上石原1の2の17

(54)【発明の名称】 ネックレス及びその製造方法

(57)【要約】 (修正有)

【目的】 製造が容易であり、強度が強く、かつ、形状があまり限定されないネックレス及びその製造方法を提供する。

【構成】 2つの貫通孔1aをそれぞれ形成された複数の真珠1と、これらの真珠1の隣り合った真珠1のそれぞれ1つの貫通孔1aを貫通し両端部が溶着材2で溶着された複数の輪状部材3とを有する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 2つの貫通孔をそれぞれ形成された複数の真珠と、これらの真珠の隣り合った真珠のそれぞれ1つの貫通孔を貫通し両端部が溶着材で溶着された複数の輪状部材とを有することを特徴とするネックレス。

【請求項2】 前記輪状部材は金またはプラチナからなり、かつ、前記溶着材は金合金からなることを特徴とする請求項1に記載のネックレス。

【請求項3】 2つの貫通孔をそれぞれ形成された複数の真珠と、これらの真珠の隣り合った3つの真珠のそれぞれ1つの貫通孔を貫通し両端部が溶着材で溶着された複数の輪状部材とを有することを特徴とするネックレス。

【請求項4】 前記輪状部材は金またはプラチナからなり、かつ、前記溶着材は金合金からなることを特徴とする請求項3に記載のネックレス。

【請求項5】 複数の真珠にそれぞれ2つの貫通孔を形成する第1の工程と、一箇所が切断された複数の切断輪状部材を形成する第2の工程と、前記切断輪状部材の両端部を拡げてこの切断輪状部材の一端部を前記複数の真珠の貫通孔に挿通する第3の工程と、次に前記切断輪状部材の両端部を溶着材で溶着して輪状部材を形成する第4の工程とを有することを特徴とするネックレスの製造方法。

【請求項6】 前記輪状部材は金またはプラチナからなり、かつ、前記溶着材は金合金からなることを特徴とする請求項5に記載のネックレスの製造方法。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、複数の真珠を有するネックレス及びその製造方法に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来より、1つの貫通孔をそれぞれ形成された複数の真珠と、これらの真珠の貫通孔に繊維からなる糸を挿通してなるネックレスが知られている。また、従来より、1つの底がある孔をそれぞれ形成された複数の真珠と、これらの真珠の孔に金属線の折れ曲げ部を挿入した状態でこの折れ曲げ部を接着剤で真珠の孔壁に接着してなるネックレスが知られている。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかし、前者のネックレスにおいては、繊維からなる糸を用いているから、強度があまり強くないと共にネックレスの形状が限定されるという問題がある。また、後者のネックレスにおいては、製造が容易でなく、かつ、強度があまり強くないという問題がある。

【0004】 本発明の目的は、製造が容易であり、強度が強く、かつ、形状があまり限定されないネックレス及びその製造方法を提供することにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】 本発明は、前記の課題を解決するために、2つの貫通孔をそれぞれ形成された複数の真珠と、これらの真珠の隣り合った真珠のそれぞれ1つの貫通孔を貫通し両端部が溶着材で溶着された複数の輪状部材とを有することを特徴とする。

【0006】 また、本発明は、2つの貫通孔をそれぞれ形成された複数の真珠と、これらの真珠の隣り合った3つの真珠のそれぞれ1つの貫通孔を貫通し両端部が溶着材で溶着された複数の輪状部材とを有することを特徴とする。

【0007】 また、本発明は、複数の真珠にそれぞれ2つの貫通孔を形成する第1の工程と、一箇所が切断された複数の切断輪状部材を形成する第2の工程と、前記切断輪状部材の両端部を拡げてこの切断輪状部材の一端部を前記複数の真珠の貫通孔に挿通する第3の工程と、次に前記切断輪状部材の両端部を溶着材で溶着して輪状部材を形成する第4の工程とを有することを特徴とする。

【0008】

【実施例】 次に、本発明の実施例を図面に基いて詳細に説明する。図1は、本発明の第1の実施例を示す一部切欠斜面図である。図2は、本発明の第1の実施例の要部を示す断面図である。図1および図2に示すように、本発明のネックレスは、2つの貫通孔1aをそれぞれ交差するように形成された複数の真珠1と、これらの真珠1の隣り合った真珠1のそれぞれ1つの貫通孔1aを貫通し両端部が溶着材2で溶着された複数の輪状部材3とを有する。

【0009】 前記輪状部材3には、他の真珠4が取り付けられている。真珠4は、1つの貫通孔4aが形成されている。輪状部材3は、真珠4の貫通孔4aを貫通している。なお、真珠1の2つの貫通孔1aは、交差していても良い。

【0010】 前記輪状部材3は、金又はプラチナなどで形成されている。前記輪状部材3は、塑性変形が可能な材料で形成したほうが良い。前記溶着材2は、金と亜鉛からなる金合金などで構成されている。

【0011】 前記真珠1、4は、直径がほぼ2～15mmであり、前記貫通孔1a、4aは、直径がほぼ0.6～1.5mmである。前記真珠1、4と貫通孔1a、4aと前記輪状部材3の大きさと形状を選定することにより、ネックレスの形状を変えることができる。

【0012】 図1に示すように、前記真珠1、4と前記輪状部材3とは、ネックレス本体5を構成している。このネックレス本体5の一端部の輪状部材3には、連結輪金具6が取り付けられている。また、前記ネックレス本体5の他端部の輪状部材3には、2つの連結輪金具7を介して一部が切り欠かれた連結リング管8が取り付けられている。この連結リング管8には、切欠部を閉塞および開放することができる開閉ピン9が押圧用のスプリング（図示せず）を介して設けられている。

【0013】この開閉ピン9には、突片9aが連結リング管8の外方に突出するように設けられている。この突片9aを指で操作して開閉ピン9をスプリングに抗して移動することにより、連結リング管8の切欠部を開放してこの切欠部から前記連結輪金具6の一部を挿入してから、突片9aから指を離すと開閉ピン9がスプリングの押圧力により移動されて連結リング管8の切欠部を閉塞する。この場合に、ネックレス本体5は、両端部が連結リング管8と連結ピン9と連結輪金具6、7とにより連結された状態となる。ネックレス本体5は、連結ピン9と連結輪金具6とを前記と反対の操作をすることにより、両端部を離すことができる。

【0014】なお、前記輪状部材3は、図示した形状に限定されるものでなく、楕円形などの種々の形状でよい。また、前記輪状部材3に、貫通孔を有する多面体を取り付けてもよい。この多面体は、金またはプラチナからなり、貫通孔に輪状部材3を挿通することによりこの輪状部材3に取り付けられる。

【0015】次に、本発明のネックレスの製造方法を図3乃至図6、図1および図2に基いて詳細に説明する。

【0016】先ず、図3に示すように、複数の真珠1にそれぞれ2つの貫通孔1aを形成する。図4に示すように、複数の真珠4にそれぞれ1つの貫通孔4aを形成する。図5に示すように、一箇所が切断された複数の切断輪状部材3'を形成する。次に、図6に示すように、前記切断輪状部材3'の両端部を拡げて、この切断輪状部材3'の一端部を真珠1の貫通孔1aに挿通し、次に真珠4の貫通孔4aに挿通し、さらに他の真珠1の貫通孔1aに挿通する。

【0017】次に、図2に示すように、前記切断輪状部材3'の両端部を溶着材2で溶着して輪状部材3を形成する。前記切断輪状部材3'の両端部を溶着材2で溶着するには、ウェルダー（溶着加熱器又はろう付け器）で溶着材を加熱溶融しこの加熱溶融した溶着材を、切断輪状部材3'の両端部を接近した状態で切断輪状部材3'の両端部に付着する。

【0018】このようにして、図1に示すように、前記ネックレス本体5を製造した後に、ネックレス本体5の一端部の輪状部材3に、前記連結輪金具6を取り付け、また、ネックレス本体5の他端部の輪状部材3に、2つの前記連結輪金具7を介して前記連結リング管8を取り付ける。

【0019】なお、複数の真珠1にそれぞれ2つの貫通孔1aを形成する工程と、一箇所が切断された複数の切断輪状部材3'を形成する工程と、真珠4に1つの貫通孔4aを形成する工程は、いずれが先であってもよく、また、同時に実施してもよい。

【0020】図7は、本発明の他の実施例を示す一部切欠斜面図である。図7のネックレスは、図1に示す実施例と同一の符号を付された構成要素を有している。図7

のネックレスは、2つの貫通孔1aをそれぞれ形成された複数の真珠1と、これらの真珠1の隣り合った3つの真珠1のそれぞれ1つの貫通孔1aを貫通し両端部が溶着材2で溶着された複数の輪状部材3とを有する。

【0021】前記真珠1と前記輪状部材3とは、ネックレス本体5を構成している。このネックレス本体5の一端部の輪状部材3には、2つの貫通孔を有する2つの多面体10を介して輪状部材3が取り付けられており、かつ、この輪状部材3に連結輪金具6が取り付けられている。また、前記ネックレス本体5の他端部の輪状部材3には、2つの貫通孔を有する2つの多面体10を介して輪状部材3が取り付けられており、かつ、この輪状部材3に2つの連結輪金具7を介して一部が切り欠かれた連結リング管8が取り付けられている。

【0022】図7のネックレスを製造する方法は、図3に示すように複数の真珠1にそれぞれ2つの貫通孔1aを形成する第1の工程と、図5に示すように一箇所が切断された複数の切断輪状部材3'を形成する第2の工程と、前記切断輪状部材3'の両端部を拡げてこの切断輪状部材3'の一端部を3つの真珠1の貫通孔1aに挿通する第3の工程と、次に前記切断輪状部材3'の両端部を溶着材2で溶着して輪状部材3を形成する第4の工程とを有する。

【0023】本発明は、2つの貫通孔1aをそれぞれ形成された複数の真珠1と、これらの真珠1の隣り合った真珠1のそれぞれ1つの貫通孔1aを貫通し両端部が溶着材2で溶着された複数の輪状部材3とを有するものであればよく、1つの輪状部材3に任意の数の真珠1が取り付けられる。

【0024】

【発明の効果】本発明によれば、製造が容易であり、強度が強く、かつ、形状があまり限定されないネックレス及びその製造方法が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の1実施例を示す一部切欠斜面図である。

【図2】図1の実施例の要部を示す断面図である。

【図3】本発明のネックレスの製造方法を説明するための図である。

【図4】本発明のネックレスの製造方法を説明するための図である。

【図5】本発明のネックレスの製造方法を説明するための図である。

【図6】本発明のネックレスの製造方法を説明するための図である。

【図7】本発明の他の実施例を示す一部切欠斜面図である。

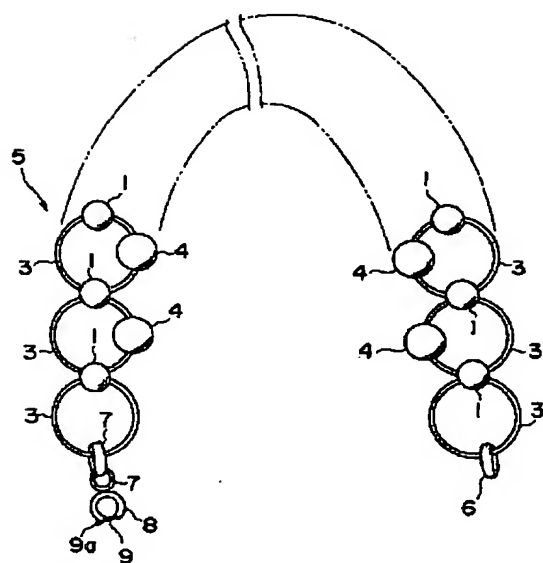
【符号の説明】

1	真珠
1a	貫通孔

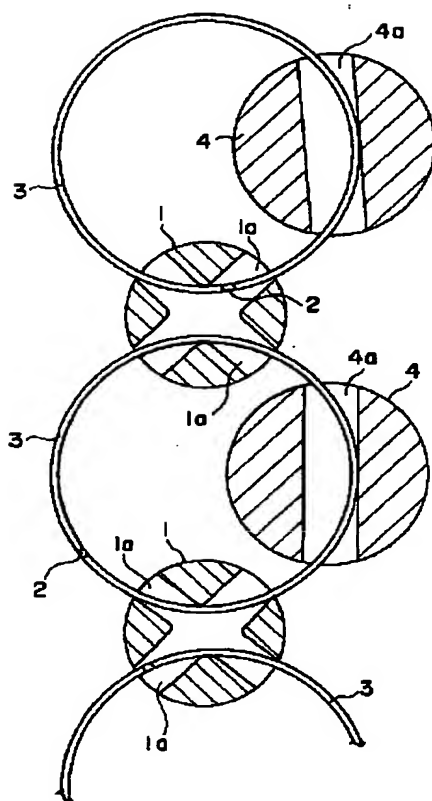
2 溶着材
3 輪状部材
3' 切断輪状部材

4 真珠
4a 貫通孔

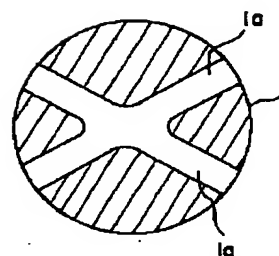
【図1】



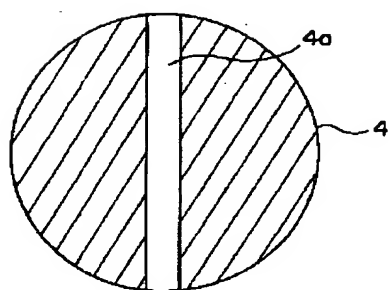
【図2】



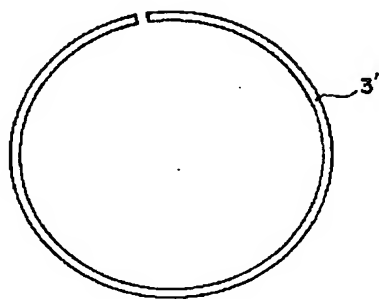
【図3】



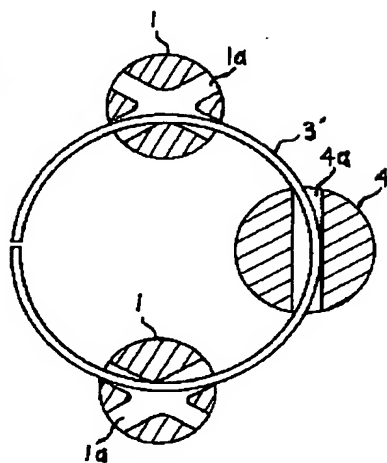
【図4】



【図5】



【図6】



【図7】

